

平成27年3月6日
日本学術会議事務局
管理課用度・管理係

調 達 公 告

件 名	日本学術会議国際交流贈与品
ボックス番号	④
数 量	一式
作 業 内 容	別紙仕様書の通り
納 入 期 限	平成27年3月31日(火)
見 積 提 出 期 限	平成27年3月12日(木)18:00まで (郵送の場合は3月11日(水)18:00まで)
見積書提出先及び 仕様書交付先	〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34 内閣府日本学術会議事務局管理課用度・管理係 TEL03-3403-1930
担 当 者 名	用度・管理係 佐藤、西田
仕様書問合わせ先 担 当 者 名	内閣府日本学術会議事務局参事官付(国際業務担当) 国際業務総括専門職 瀧澤 伸司
競争に参加する者 に必要な資格及び 注意事項	①別添の「オープンカウンター方式について」を参照 ②参加者は、見積書の提出をもって 「暴力団排除に関する誓約事項」(別記)に誓約したものとする。

仕 様 書

- 1 件 名 日本学術会議国際交流贈与品
- 2 概 要 国際交流事業においては、通常、団体間において、表敬訪問等で贈与品等が手交されることが国際儀礼上、慣例となっているので、国際交流事業の円滑な実施を行うため、贈与品として使用する物品を購入する
- 3 納品場所 東京都港区六本木7-22-34
日本学術会議庁舎
- 4 内 容 輪島塗（他の漆塗工芸品も可）で仕上げ、かつ日本的な情景が描かれているものを別添見本①を参考に以下の品を作成すること
1：木製置時計（10個）
（寸法：12×10×3cm程度、ケース付）
2：名刺盆 瑞扇（金）（10個）
（寸法：17×24×2cm程度、ケース付）
3：USB メモリー（30個）
（寸法：22×53×8mm程度、ケース付）
4：実用扇子（20個）
（寸法：ケース付）
なお、各品本体に別添見本②の書式にて名入れを行うこと
- 5 履行期限 平成27年3月31日
- 6 納 品 請負者は、速やかに上記内容の品を納入すること。
- 7 本仕様書の
問合せ先 日本学術会議事務局参事官付（国際業務担当）
瀧澤 伸司
Tel 3403-5731
- 8 その他
(1) 実施日については、担当者と協議の上、決定することとする。
(2) 当該作業履行に係る一切の諸費用を計上すること。
(3) 仕様書に記載はないが、技術上、当然すべき事項については、これを実施するものとする。
(4) 本仕様書の内容及び解釈等に疑義が生じた場合、その他、特に必要があると認められた場合は、事前に担当者と協議の上、決定、解釈を図ること。



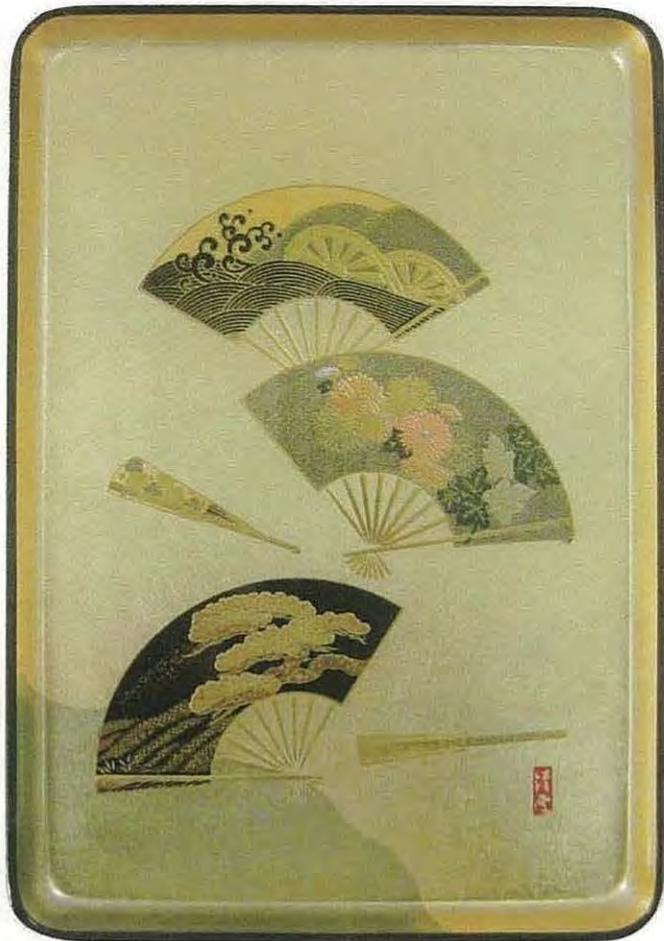
木製置き時計 光琳梅
実寸：12.2×10.5×3.6cm



木製置き時計 赤富士
実寸：12.2×10.5×3.6cm

名刺盆 瑞扇

MeishiBon Zuisen



瑞扇(金)
実寸：17.0×24.3×1.5cm

USB メモリー

8G USB 3.0/2.0

本体に漆で蒔絵を施した当社オリジナルの大人気商品です。
海外向けのギフトや国内の記念品などにどうぞ。

寸法：約21.5×53.5×8.0mm (スライドスイッチ含む)
質量：約 10g (梱包時) 約 17g

別添：見本① - 2



赤富士



青富士



金富士



青波



金波



扇面赤富士



扇面



花菱



しだれ夜桜



彩華



連獅子



金閻寺



姫路城

対応 OS	Windows 8 (32ビット・64ビット)※1 / Windows 7 (32・64ビット) / Windows Vista (32・64ビット) / Windows XP SP3以降 Windows RT
	Mac OS X 10.4～10.7

飾り扇子



実用扇子(7.5寸25間) おひさ



実用扇子(7.5寸25間) 波



実用扇子(7.5寸25間) 赤富士

〈実用扇子のみ 最小ロット数：10本〜〉

別添 見本②



日本学術会議

Science Council of Japan

暴力団排除に関する誓約事項

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記事項について入札書又は見積書の提出をもって誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、貴職の求めに応じて当方の役員名簿（有価証券報告書に記載のもの（生年月日を含む。）ただし、有価証券報告書を作成していない場合は、役職名、氏名、性別及び生年月日の一覧表）等を提出すること、及び当該名簿に含まれる個人情報等を警察に提供することについて同意します。

記

1 次のいずれにも該当しません。また、当該契約満了まで該当することはありません。

(1) 契約の相手方として不適当な者

ア 法人等（個人、法人又は団体をいう。）の役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）であるとき

イ 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき

ウ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき

オ 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき

(2) 契約の相手方として不適当な行為をする者

ア 暴力的な要求行為を行う者

イ 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

ウ 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

エ 偽計又は威力を用いて契約担当官等の業務を妨害する行為を行う者

オ その他前各号に準ずる行為を行う者

2 暴力団関係業者を下請負又は再委託の相手方としません。

3 下請負人等（下請負人（一次下請以降の全ての下請負人を含む。）及び再受託者（再委託以

降の全ての受託者を含む。)並びに自己、下請負人又は再受託者が当該契約に関して個別に締結する場合の当該契約の相手方をいう。)が暴力団関係業者であることが判明したときは、当該契約を解除するため必要な措置を講じます。

- 4 暴力団員等による不当介入を受けた場合、又は下請負人等が暴力団員等による不当介入を受けたことを知った場合は、警察への通報及び捜査上必要な協力を行うとともに、発注元の契約担当官等へ報告を行います。